

政策の実行に住民との合意形成をどのようにしていくのか

怠りなく、拙速にならず、迅速にしていきたい



エンジェル千代子議員

質問：住民懇談会で、議論が期待したほど活発ではなかったが。

答弁：期待、心配、苦言、さまざまな貴重な意見を聞くことができました。

質問：町長が進めようとする政策に、住民との協働や合意形成をどう取り入れていくか。住民とともに政策を作り上げて、住民自らも責任を持って運営にかかわれるような段階が大切ではないか。

答弁：詳細なビジネスプランを作り、住民懇談会で説明し、皆さんの意見を聞きたいと思えます。

有識者の方々にはそのつどお話を聞いて進めていくつもりです。  
合意形成については怠りなく、拙速にならないように、しかし迅速にやりたいと思います。

質問：塚平に大規模なものを作る構想ではなく、まず現状を精査し、小さい単位での問題解決に努めるべきでは。

答弁：塚平の問題はタイミングです。三菱の社長が富士見を応援してくれている間にこの構想が確立できればと思っています。

□その他の質問  
\*農業の活性化に向けての政策について  
\*子どもの育つ環境について



住民懇談会 (11/20本郷小学校)



五味 滋 議員

松茸山の開発で町の活性化を目指しては

有識者、研究者、住民の皆さんの協力を得て進めたい

が進むだろう。  
答弁：ぜひ、有識者、研究者、そして皆さんの協力を得てこれを進めたい。

質問：松茸は高級食品であり、確実に売れるから町おこしにもつながる。ホームページで書けるようなことを目指して進めてほしい。

答弁：もう少し勉強して実現させたい。

□その他の質問  
\*パノラマへの10億円支援について  
\*22年度予算について

質問：立沢広原に県企業局から19年度に寄附された約6万3千坪の町土地がある。この土地を放っておくことはない。町長の好きな夢を語る松茸山の研究をしたらどうか。立場川の奥の方は、天然記念物を含め文化的、経済的に重要な植物がたくさん生息する可能性がある土地だ。松茸の研究が進めば富士見の活性化